

特記仕様書

1. 総則

1-1 適用範囲

本仕様書は、甲州市が発注する【西川水路改修工事】に適用する。また、本仕様書に記載されていない事項は山梨県土木工事共通仕様書によるものとする。

1-2 工事範囲

本工事範囲は別紙図面等に示す範囲とする。

1-3 履行期間

履行期間は契約書に記載されている期日を遵守するものとする。

1-4 適用単価

令和6年8月1日基準とする。

2. 工事関係

2-1 工事の概要

本工事の概要は、工事数量表に示す通りとする。

2-2 主任技術者、監理技術者又は監理技術者補佐（以下「主任技術者等」という。）の配置及び現場代理人の常駐を必要としない期間

1. 工期の始期日から現場施工に着手するまでの期間（起工測量、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、主任技術者等の工事現場への配置を必要としない。また、現場代理人についても常駐を必要としない。
2. 工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。）、事務手続き、後片付け等が残っている期間については、主任技術者等の工事現場への配置及び現場代理人の常駐を必要としない。なお、検査が終了した日は、発注者が工事の完成を確認した旨、受注者に通知した日（「完成検査結果通知書」等における日付け）とする。

2-3 工事着手

工期の始期日から30日以内に工事着手すること。ただし、発注者が指示した場合、又は発注者の承諾を得た場合はこの限りではない。なお、現場施工に着手する日については、請負契約の締結後、監督員と打合せにおいて定め、「工事打合せ簿」により監督員に報告すること。

2-4 電子納品

電子納品対象書類は、工事完成書類図書内の工事写真を対象とし、納品する電子データは、「甲州市電子納品要領」に従い作成する。ただし、工事成果品（工事写真）を紙にて提出したい場合は、監督員と協議の上、納品方法について決定するものとする。

3. 安全対策

3-1 交通誘導警備員

工事の施工にあたっては「道路工事保安施設設置基準」に基づき、適切な交通管理を行うこと。また、交通誘導員は次の条件により計上している。

- ・規制方法：全面通行止め 迂回路設置 起終点に交通誘導員を配置
- ・交通誘導の時間帯：昼間勤務 ・計上人数：30人

4. 仮設工

4-1 水替工

本工事における水替工については、仮締切及び常時排水にて対応を行うこと。なお、常時排水の計上日数については、15日間とする。

4-2 工事用道路工

本工事には、狭小道路内の工事となることから、現況道路に敷鉄板を設置し、土砂の搬出等の作業を行うことを想定している。なお、敷鉄板の供用日数は30日間とする。

5. その他

5-1 残土処理

【残土量200m3未満】

本工事で発生する残土処理については、指定処分Bとし、運搬距離については4kmを計上する。運搬距離については、実際の運搬距離を変更の対象とするが、搬出先については監督員に事前に協議するものとする。また、運搬距離が4km以上となる場合はその理由を明確にすること。

なお、100m3(地山度量)以上の建設発生土を他市町村へ搬出する場合は「建設発生土搬出のお知らせ」により、受入市町村に報告するとともに、工事打合せ簿により監督員にその写しを提出すること。

5-2 暴力団等からの不当要求及び工事妨害の排除

請負者は、工事の施工に当たり、暴力団等からの不当要求及び工事妨害を受けた場合は、その旨を直ちに発注者に報告するとともに、所轄の警察署に届出を行い、捜査上必要な協

力を行うこと。この場合において、工程等を変更せざるを得なくなったときは、速やかに発注者と協議すること。

5-3 法定外の労災保険の付保について

1. 本工事において、受注者は「法定外の労災保険」に付さなければならない。
2. 前項の保険契約を締結したときは、その証券等の写しを速やかに工事担当課へ提出しなければならない
3. この特記仕様書における「法定外の労災保険」とは、従業員等が業務上の災害を被った場合に、法定労災保険の保険給付に上乗せして雇用者が従業員、又はその遺族に支払うことを目的としている保険をいう。

5-4 その他

1. 本特記仕様書に明記されていない事項については、監督員の指示に従うこととする。
また、本特記仕様書によりがたい事態が発生した場合、あるいは内容に疑義が生じた場合は、速やかにその都度監督員と協議の上決定するものとする。
2. 請負者は、区長、近隣住民に工事内容・工事期間の周知を図り、トラブルの無いよう努めること。